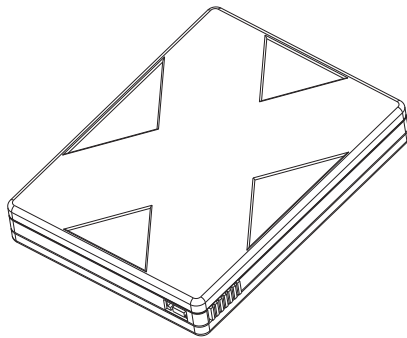


HITACHI&TOSHIBA 1.8インチHDD両対応 モバイルケース

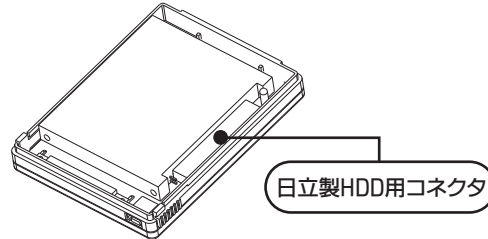
HDE-01/HDE-02取扱説明書

この度は弊社モバイルHDDケース/HDE-01・HDE-02をお買い求めいただきありがとうございます。ご紹介します。

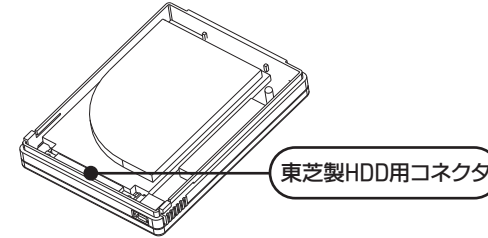
製品をご使用になる前に、本製品をご理解いただくために、このマニュアルをお読みください。



●日立HDDの取り付け図



●東芝HDDの取り付け図



■システム要件

- USBポート搭載のデスクトップ・ノートPC
- 対応OS:Windows98/98SE/Me/XP/2000

■特徴

- 1 USB2.0&USB1.1準拠
- 2 プラグアンドプレイ・ホットプラグ対応
- 3 転送レートは480Mb/s(USB2.0) 及び12Mb/s(USB1.1)*
- 4 バスパワー電源動作

*注意:USBの転送速度は、理論上の速度値です。

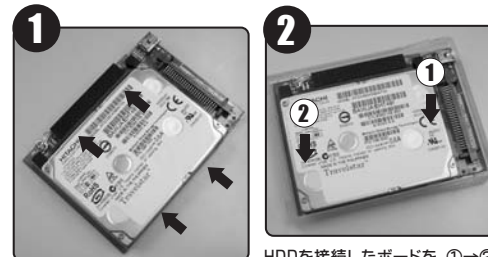
■付属品

当製品を誤使用になる前に、下記の内容物が同梱されていることをご確認ください。

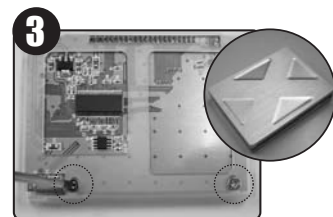
不足物がある場合、お買い上げの販売店・代理店にご連絡下さい。

- HDDケース本体
- USBケーブル: ミニBタイプオス-Aタイプオス(約90cm)
- HDD固定用ネジ(日立製HDD用)
- 両面テープ付ウレタンフォーム(東芝製HDD用)
- ドライバCD-ROM(Windows98/98SE)
- 英語マニュアル

■日立製HDDの取付方法

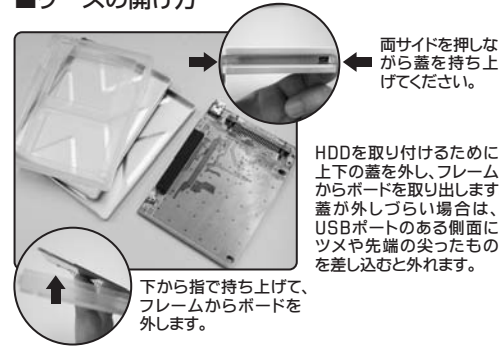


HDDを接続したボードを、①→②の順に丁寧にフレームに戻します。USBポートがフレームの穴に収まっていることをご確認ください。



フレーム裏面から付属のネジでボードとHDDを固定し、上下の蓋をします。締めすぎにご注意ください。

■ケースの開け方

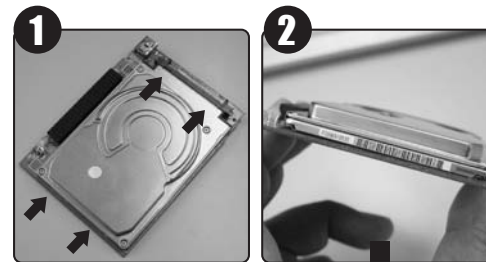


HDDを取り付けるために上下の蓋を外し、フレームからボードを取り出します。蓋が外しづらい場合は、USBポートのある側面にツメや先端の尖ったものを差し込みと外れます。

下から指で持ち上げて、フレームからボードを外します。

■東芝製HDDの取付方法

東芝製HDDは、そのままケースに設置しますとHDDの周りに隙間ができコネクタからピンが抜けてしまいます。ピン抜け防止用に両面テープ付ウレタンフォームをご使用ください。



ピンが曲がらないように気をつけながら、HDDをコネクタに差し込みます。



HDDの側面に、両面テープ付ウレタンフォームを貼ります。

HDDを接続したボードを、①→②の順に丁寧にフレームに戻し、上下の蓋をします。USBポートがフレームの穴に収まっていることをご確認ください。

■対応HDD

- 東芝製 1.8インチHDD(5mm・8mm厚対応)
- 日立製 1.8インチHDD(7mm厚対応)*

*注意:日立製1.8インチHDD(9.5mm厚)には対応しません。

■Windows98/98SEでのドライバインストール

- 1 システムを起動
 - 2 HDDを取付けたモバイルケースをUSBケーブルにてPCに接続
 - 3 システムが自動的にUSBデバイスを発見するので、「新しいハードウェアを追加」→「次へ」を選択
 - 4 「使用可能なドライバ」→「次へ」を選択
 - 5 ドライバCD-ROMを挿入し、当該CD-ROMドライブを選択
 - 6 システムが自動的にセットアップを完了します
- インストール完了後、 アイコンが右下部分のタスクバーに表示されます。



■WindowsMe/2000/XPでのドライバインストール

- 1 システムを起動
 - 2 HDDを取付けたモバイルケースをUSBケーブルにてPCに接続
 - 3 システムが自動的にUSBデバイスを発見
 - 4 システムが自動的にセットアップを完了します
- インストール完了後、 アイコンが右下部分のタスクバーに表示されます。

△WindowsMeでドライブが表示されない場合

WindowsMeの場合、NTFSでフォーマットされたドライブは認識できません。FDISKを実行させFAT16かFAT32でフォーマットしなおしてください。

■USBケーブルを抜く前に、下記の手順を行ってください。

- 1 右下の アイコンをクリック
 - 2 「安全に取り外し」を選択
 - 3 「システムから安全にストレージデバイスを取り外すことができます」が表示されるので、確認して「OK」をクリック
- 安全にUSBケーブルを取り外すことができます